

2024年度 一般選抜問題
前期B日程 2024年1月21日(日)

選 択 科 目

(数学・基礎理科・物理・化学・生物・日本史・世界史・国語)

数 学	1～6ページ
基礎理科	7～30ページ
※2科目選択して1科目の扱いとなります。	
物 理	31～45ページ
化 学	47～58ページ
生 物	59～75ページ
日 本 史	77～87ページ
世 界 史	89～102ページ
国 語	103～116ページ

注 意 事 項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
2. 3科目型の受験生および3科目型と2科目型を併願する受験生は上記の科目から2科目を、2科目型の受験生は、上記科目と英語から2科目を選択してください。但し受験票に記載された科目以外を受験すると0点となります。
3. 解答用紙には、「**数学**」(青色)と「**基礎理科**」(赤色)と「**数学・基礎理科以外**」(赤色)の3種類があります。
4. 試験開始後、解答用紙に受験番号と名前を必ず記入し、受験番号をマークしてください。数学以外の科目については、解答する科目を選び、科目の右にマークしてください。また解答科目欄に科目名を記入してください。正しくマークされていない場合は0点となります。
5. 解答はすべて解答用紙の解答欄にマークしてください。「**基礎理科**」の解答用紙は2科目を選択し、科目ごとに決められた解答欄にマークしてください。3科目に解答した場合は0点となります。
6. 問題用紙の余白は計算に使用してもかまいませんが、解答用紙を汚してはいけません。
7. 試験開始後、問題用紙・解答用紙に落丁・損傷がないか確認してください。
8. 数学の問題の冒頭には「**解答上の注意**」が記入されていますので、必ず読んでから解答してください。
9. 試験終了後、問題用紙は持ち帰ってください。

日本史

1 原始・古代から近現代までの道具に関する次の文章を読み、下の問い（問1～9）に答えなさい。

縄文時代になると、日本列島の気候は温暖になり、現在の自然環境に近くなった。(a)こうした自然環境の変化に対応して、人々は道具を改良しながら暮らした。(b)農耕が伝来すると、道具も農耕に適したものがつくられた。それらの多くは現在の農具の原型となっている。このように人々は自然環境や社会の変化に応じて道具を生み出してきた。

道具のなかには、海外から持ち込まれたものも多い。その一つが、火薬を用いた武器である。火薬の原料である **ア** は、もともと日本から輸出されていた。元軍はそれを武器に用いて日本軍を苦しめた。それ以降、日本で火薬を用いた武器が (c)本格的に使用されるようになったのは、16世紀に東南アジアで改良された火縄銃が持ち込まれてからであった。同様に、海外から持ち込まれた (d)活字印刷術は、宣教師によって金属製の活字によるものが伝えられ、朝鮮人捕虜によって木製の活字によるものが伝えられた。

楽器もまた、道具の一つである。近世には、 **イ** から伝わった三味線が芸能を支える主要な楽器となった。特に、三味線は (e)語り物である浄瑠璃の伴奏として取り入れられ、それに人形操りを組み合わせた人形浄瑠璃の流行に貢献した。江戸時代後期に人形浄瑠璃が (f)歌舞伎の人気に圧倒されて以降も、三味線は唄浄瑠璃や歌舞伎の伴奏としても用いられ続け、江戸時代を通じて人々の娯楽に欠かせないものとなった。三味線はこうして都市だけでなく地方民謡の伴奏にも用いられ、現在に至っている。

近代になると、マス・メディアが人々に情報をもたらす道具となった。1869年に本木昌造が鉛製活字の量産技術導入に成功すると、(g)日刊新聞や雑誌が次々と発行された。また、西洋思想が流入するなかで、さまざまな結社がつけられ、そこから多数の刊行物が出された。人々はそれらの刊行物から情報を得て、さらに新しいものを生み出した。一方で機械の性能も向上し、1925年にはラジオ放送が開始された。一度に多くの人への情報伝達を可能にするしくみは、(h)戦後のテレビ放送でより顕著となった。

問1 空欄 **ア** ・ **イ** に入る語句の組合せとして最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。 **1**

- ① **ア** 硫黄 **イ** 琉球 ② **ア** 硫黄 **イ** 蝦夷地
③ **ア** 石炭 **イ** 琉球 ④ **ア** 石炭 **イ** 蝦夷地

問2 下線部(a)に関連して、縄文時代の道具について述べた文として最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。 **2**

- ① 漁労のために、ナウマンゾウの骨を使った釣針が用いられた。
② 効率よく狩猟をするために、打製の石鏃は使われなくなった。
③ 採取した木の実をすりつぶすために、石皿が用いられた。
④ 食物を保存するために、のぼり窯を用いて硬質な須恵器がつけられた。

問3 下線部(b)に関連して、弥生時代前期の農具に関して述べた次の文X・Yについて、その正誤の組合せとして最も適当なものを、下の①～④の中から一つ選びなさい。 3

X 地下水位が高く湿潤な水田が一般的であったため、田下駄が用いられた。

Y 耕作用の農具は、一般的に刃先が鉄製の鍬や鋤が用いられた。

① X 正 Y 正

② X 正 Y 誤

③ X 誤 Y 正

④ X 誤 Y 誤

問4 下線部(c)に関連して、火縄銃を日本に伝えた人物が属する国と、日本で火縄銃が生産された地域との組合せとして最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。 4

① ポルトガル—和泉の堺

② ポルトガル—近江の坂本

③ スペイン—和泉の堺

④ スペイン—近江の坂本

問5 下線部(d)に関連して、伝来した活字印刷術に関して述べた文a～dの組合せについて正しいものを、下の①～④の中から一つ選びなさい。 5

a 金属製の活字による印刷術は、宣教師ヴァリニャーニによって伝えられた。

b 金属製の活字による印刷術は、宣教師ガスパル=ヴィレラによって伝えられた。

c 木製の活字による書物が、後陽成天皇の勅命で出版された。

d 木製の活字による書物が、後小松天皇の勅命で出版された。

① a・c

② a・d

③ b・c

④ b・d

問6 下線部(e)に関して、江戸時代前期に活躍した人形浄瑠璃の語り手として最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。 6

① 高三隆達

② 竹本義太夫

③ 辰松八郎兵衛

④ 近松門左衛門

問7 下線部(f)の歌舞伎に関して述べた次の文I～IIIについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥の中から一つ選びなさい。 7

I 歌舞伎狂言作者の河竹黙阿弥による、白浪物が上演された。

II 「団菊左時代」と呼ばれる、歌舞伎の黄金時代を迎えた。

III 東洲斎写楽によって、歌舞伎役者の絵が描かれた。

① I→II→III

② I→III→II

③ II→I→III

④ II→III→I

⑤ III→I→II

⑥ III→II→I

問8 下線部(g)に関連して、近代に発行された刊行物について述べた文として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。

- ① 日本で最初に発刊された日刊新聞は、『東京日日新聞』であった。
- ② 河上肇の『太陽のない街』によって、マルクス主義が広まった。
- ③ 平民社の『国民新聞』が、日清戦争開戦とともに対外膨張論に転じた。
- ④ 政教社の雑誌『日本人』が、高島炭鉱の労働者の惨状を報じた。

問9 下線部(h)に関連して、テレビで放映された内容について述べた文として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。

- ① 法隆寺金堂壁画が焼損する様子が、上空から放映された。
- ② 東京駅で行われた、東海道新幹線開業式の様子が放映された。
- ③ 湯川秀樹が、ノーベル物理学賞を受賞する様子が生放送された。
- ④ 美空ひばりが、デビュー曲の「リンゴの唄」を生放送で披露した。

2 古代から近世の土地制度に関する次の文章を読み、下の問い（問1～9）に答えなさい。
（史料は、一部省略したり、書き改めたりしたところもある。）

ヤマト政権における土地の把握は、一元的ではなかった。大王は在地の有力豪族を国造として地域の支配権を認めるなかで、(a) 大王の経済基盤となる土地を管理させた。朝廷は改新の詔で公地公民制への移行を宣言すると、人民を戸籍によって把握し、戸ごとに口分田を班給する体制を徐々に構築していった。こうして律令制のもと、班給される田地面積や税率などを固定し、土地を国家が一元的に管理する体制が整った。しかし、実際には戸籍に登録された本籍地を離れる者が現われたり、人口増加にともなう田地不足、疫病や飢饉にともなう班給した田地の荒廃など、さまざまな課題が出てきた。このため、(b) 政府は面積の上限を決めたうえで開墾した土地を私有することを認める法令を出した。

10世紀前半になると、(c) 国司の最上席者である受領が田地を対象として課税する体制を整えた。受領は課税対象とする田地を名という徴税単位に分け、田堵と呼ばれる有力農民に納税を請け負わせて負名とし、負名から徴税した。しかし、受領の裁量によって開発地の税の免除が認められる **ア** もあったことから、この課税体制は不安定な要素を含むものであった。このため (d) 11世紀半ば以降、政府は荘園整理令を出して中央主導の地方行政に戻そうとした。

鎌倉時代になると、(e) 幕府と朝廷による公武二元支配体制がとられた。その前提となったのが、知行国の制度である。朝廷は全国に知行国主を任命し、一国の支配権を与えた。将軍家にも、もともと多い時で9カ国が与えられ、これを **イ** と呼んだ。こうして鎌倉幕府も多くの荘園をもつようになった。また、幕府は将軍家の荘園以外の荘園や公領（国衙領）にも (f) 御家人を地頭として任命し、土地制度を通して幕府の支配体制を固めていった。

南北朝の動乱は、荘園領主にとって転機となった。南北朝の動乱のなか、地方武士もさまざまな土地を押領しており、(g) 室町幕府も地方武士を動員するために守護の権限を拡大したため、荘園領主による支配は動揺した。戦国時代に入ると戦国大名による領国支配が進展して、荘園を維持することは困難になっていった。そして (h) 豊臣（羽柴）秀吉による全国規模の検地によって、中世の荘園は完全に姿を消した。

問1 空欄 **ア** ・ **イ** に入る語句の組合せとして最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。 **10**

- ① **ア** 官省符荘 **イ** 関東御分国 ② **ア** 官省符荘 **イ** 関東御領
③ **ア** 国免荘 **イ** 関東御分国 ④ **ア** 国免荘 **イ** 関東御領

問2 下線部(a)に関連して、大王の直轄領と、その地の耕作民との組合せとして最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。 **11**

- ① 屯倉一田部 ② 屯倉一部曲
③ 田荘一田部 ④ 田荘一部曲

問3 下線部(b)について、この法令の内容について述べた文として最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。 12

- ① 開墾した土地では、国司・郡司の介入を排除することができた。
- ② 開墾した土地は、官人だけでなく庶民も私有することができた。
- ③ 開墾した土地は、賃租の形式とされ、税はかからなかった。
- ④ 開墾した土地の私有面積は、灌漑施設の新旧によって異なった。

問4 下線部(c)に関連して、受領に関して述べた次の文X・Yについて、その正誤の組合せとして最も適当なものを、下の①～④の中から一つ選びなさい。 13

X 受領に権力が集中し、受領以外の国司は実務から排除されていった。
Y 受領には任期があったが、この任期を延長することを遙任という。

- ① X 正 Y 正
- ② X 正 Y 誤
- ③ X 誤 Y 正
- ④ X 誤 Y 誤

問5 下線部(d)に関連して、11世紀半ばに荘園整理令を出した天皇と、その法令以降に公領(国衙領)で採用された度量衡との組合せとして最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。 14

- ① 後三条天皇－宣旨枡
- ② 後三条天皇－京枡
- ③ 醍醐天皇－宣旨枡
- ④ 醍醐天皇－京枡

問6 下線部(e)に関連して、この制度のもとで、所領をめぐる紛争が次第に増加した。そのことに関して述べた文a～dの組合せについて正しいものを、下の①～④の中から一つ選びなさい。

15

- a 所領に関する訴訟が増加したことを受け、幕府は評定衆を任命した。
- b 所領に関する訴訟が増加したことを受け、幕府は引付を設置した。
- c 地頭は荘園領主との間で、村による年貢納入の請け負いを認める地頭請所の契約を結ぶ場合もあった。
- d 地頭は荘園領主との間で、土地を分割し、相互の支配権を認めあう下地中分を行う場合もあった。

- ① a・c
- ② a・d
- ③ b・c
- ④ b・d

問7 下線部(f)に関連して、鎌倉時代の守護や地頭について述べた文として**適当でないもの**を、次の①～④の中から一つ選びなさい。 16

- ① 有力な御家人のなかから、大犯三カ条を職務とする守護が任命された。
- ② 女性の地位は比較的高く、女性が地頭になることもあった。
- ③ 地頭職は惣領のみに相続され、庶子が地頭になることはなかった。
- ④ 新補地頭には、新補率法にもとづいて段別5升の加徴米を徴収することが認められた。

問8 下線部(g)に関連して、次の史料は南北朝の動乱期に出された半済令の一部である。この史料から考えられることに関して述べた下の文**X・Y**について、その正誤の組合せとして最も適当なものを、あとの①～④の中から一つ選びなさい。 17

一 寺社本所領の事 観応三・七・廿四御沙汰

諸国擾乱^{じょうらん}に依り、寺社の荒廃、本所の牢籠^{ろうろう} (注1)、近年倍増せり。而るに、適^{たまたま}静謐^{せいひつ}の国々も、武士の濫吹^{らんすい} (注2) 未だ休まずと云々。

……近江・美濃・尾張三ヶ国の本所領半分の事、兵粮料所^{ひょうりょうりょうじょ} (注3) として、当年一作、軍勢に預^{あず}け置くべきの由、守護人等に相触れ^{あひふ} (注4) 訖^{おわ}んぬ。半分に於いては、宜^{よろ}しく本所に分ち渡すべし。若し預^{あず}かりにん^そ人事^うを左右^さに寄せ^せ (注5)、去^{さり}渡^{わた}さざれば、一円^{いちえん}に本所に返付すべし。

(建武以来追加)

- (注1) 牢籠：所領を失い苦境に陥ること。
- (注2) 濫吹：秩序を乱すこと。
- (注3) 兵粮料所：兵粮米の用途のために指定された所領。
- (注4) 相触れ：通知する。
- (注5) 左右に寄せ：あれこれいいのがれをして。

X この法令が出る前から、寺社本所領では武士の略奪があったと考えられる。

Y この法令は、荘園領主にとっても室町幕府の保障を得られる効果があったと考えられる。

- ① **X** 正 **Y** 正
- ② **X** 正 **Y** 誤
- ③ **X** 誤 **Y** 正
- ④ **X** 誤 **Y** 誤

問9 下線部(h)に関連して、太閤検地が行われた時期の出来事に関して述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥の中から一つ選びなさい。

18

- Ⅰ 全国の大名に対し、その領国の検地帳と国絵図の提出を命じた。
- Ⅱ 全国の大名に停戦を命じ、領国確定を秀吉の裁定で行うことを強制した。
- Ⅲ 山崎の合戦に勝利した後、山城国を中心に秀吉による検地が行われた。

- ① Ⅰ→Ⅱ→Ⅲ ② Ⅰ→Ⅲ→Ⅱ ③ Ⅱ→Ⅰ→Ⅲ
- ④ Ⅱ→Ⅲ→Ⅰ ⑤ Ⅲ→Ⅰ→Ⅱ ⑥ Ⅲ→Ⅱ→Ⅰ

3 江戸時代の幕政改革に関する次の文章を読み、空欄 19 ～ 27 に入る語句として最も適当なものを、それぞれの①～④の中から一つ選びなさい。

8代将軍徳川吉宗による幕政改革を享保の改革と呼ぶ。この改革の大きな柱となったのが、支出抑制と収入増加である。支出抑制では、倹約令の発令に加え、旗本の登用にあって役職ごとに基準の役高を定め、禄高が基準に満たない場合、在職中に限って不足分を支給することにした。この制度によって禄高が増された人物には、19 〔①青木昆陽 ②荻生徂徠 ③大岡忠相 ④室鳩巢〕がいる。収入増加では、諸大名に対して、石高 20 〔①1000石 ②1万石 ③10万石 ④100万石〕につき100石を幕府に献上させ、代わりに参勤交代での在府期間を半減した。また、新田開発を奨励して耕地面積の増加をはかり、商品作物生産を奨励して畑地からの年貢収入をめざした。享保の改革では、年貢率について従来の検見法を改め、定免法への転換をはかった。また 21 〔①町奉行(江戸) ②勘定奉行 ③寺社奉行 ④道中奉行〕神尾春央による、徹底した年貢増収をはかった。

11代将軍徳川家斉のもと、老中首座松平定信によって進められた幕政改革を寛政の改革と呼ぶ。この改革では、荒廃した村の復興と江戸の秩序回復がめざされた。村の復興としては、江戸に流入した貧民に資金を与えて帰村を促した。また、飢饉に備えて困米を命じ、各地に社倉・義倉の設置を勧めて米穀を蓄えさせた。江戸の秩序回復としては、22 〔①石川島 ②小石川 ③日本橋 ④浅草〕に人足寄場を設け、無宿人を強制的に收容し、職業訓練を行った。さらに、江戸の町に町費節約を命じ、節約分の 23 〔①1割 ②3割 ③5割 ④7割〕を積み立てさせた。

12代将軍徳川家慶のもと、老中首座水野忠邦が進めた幕政改革を天保の改革と呼ぶ。この改革でも、江戸に流入した貧民の帰郷を強制し、飢饉で荒廃した農村の再建がはかられた。また、江戸の物価騰貴に対応するために、株仲間の解散を命じた。これは幕府にとって運上・冥加の収入を失うものであったが、幕府はそれ以上に江戸での物価引下げを期待した。しかし実際の物価騰貴の原因は、24 〔①越前 ②岡山 ③肥前 ④長州〕藩の越荷方の活動などによって上方市場への商品流通量が減少していたためであり、解散はかえって江戸への物流を減らすものとなった。さらに、財政の安定や対外防備の強化をはかるために 25 〔①上げ米 ②棄捐令 ③上知令 ④分地制限令〕を出して、江戸・大坂周辺の大名領・旗本知行地を直轄にしようとしたが、大名・旗本の反対により実施できなかった。

幕末の幕政改革では、13代将軍のもと、老中首座 26 〔①阿部正弘 ②井伊直弼 ③徳川斉昭 ④堀田正睦〕が日米和親条約に調印し、一方で江戸湾に台場を築くなどの国防対策を行った。公武合体を推進した文久の改革では、幕府の職制も改められ、政事総裁職に 27 〔①島津久光 ②島津斉彬 ③松平慶永 ④松平容保〕を任命するなど、親藩から要職に就ける体制を敷いた。

4 近現代の日中関係に関する次の文章を読み、下の問い（問1～9）に答えなさい。

江戸時代の日本は中国と正式な国交を結んでいなかったが、明治時代になると、日本は清国に使節を派遣して対等な条約を結んだ。だが、(a)琉球処分を機に日本と清国の関係は悪化し、処分後も琉球をめぐる問題は双方合意とはならなかった。その後、壬午軍乱を機に、日清両国は朝鮮をめぐる関係を悪化させた。日清間の緊張は一時緩和した時期もあったが、朝鮮で起こった **ア** を機に日清両軍が朝鮮に出兵し、日清戦争が始まった。

日清戦争は日本の勝利に終わり、下関で講和条約が結ばれた。これにより、清国の朝鮮に対する宗主権は放棄された。(b)台湾が割譲されたことで、沖縄についても日本への帰属が事実上確定し、一方で清国は欧米列強による分割を余儀なくされた。その後(c)北清事変が発生し、日本はふたたび清国と交戦した。

次に日中間で紛争が起こったのは第一次世界大戦である。日本は日英同盟を理由に第一次世界大戦に参戦し、ドイツの根拠地である山東省青島やドイツ領南洋諸島の一部を占領したうえで、中国の **イ** 政府に(d)二十一カ条の要求を突きつけた。第一次世界大戦後、山東省の権益はアメリカなどから警戒され、最終的にワシントン会議で返還した。

一方、中国では国民党と共産党が提携し、北方軍閥を打倒して中国全土の統一をめざしていた。そうした北伐の動きに対抗するため、日本は3次にわたる山東出兵を行った。しかし、満州軍閥の張作霖が国民革命軍に敗れると、(e)関東軍の一部による満州支配が計画され、張作霖を暗殺する事件が発生した。これをきっかけとして、張作霖の子張学良が国民政府に合流し、満州全土で国民党の青天白日旗が掲げられ、日中関係はさらに悪化した。その後、(f)柳条湖事件をきっかけに満州事変が、盧溝橋事件をきっかけに日中戦争がそれぞれ勃発し、ふたたび日中両国軍は軍事衝突した。(g)日中戦争は結果的にアメリカとの関係も悪化させ、太平洋戦争へと突入していった。

第二次世界大戦後、日本は連合国の占領統治を受けた。日本は(h)サンフランシスコ平和条約に調印し、独立国としての主権を回復するまで、外国との国交は断絶したままであった。その後、中国との国交は正常化した。多くの課題が未解決のままである。

問1 空欄 **ア** ・ **イ** に入る語句の組合せとして最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。 **28**

- | | |
|-------------------|--------------|
| ① ア 甲午農民戦争 | イ 袁世凱 |
| ② ア 甲午農民戦争 | イ 段祺瑞 |
| ③ ア 甲申事変 | イ 袁世凱 |
| ④ ア 甲申事変 | イ 段祺瑞 |

問2 下線部(a)に関連して、琉球処分経過に関して述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥の中から一つ選びなさい。 29

- Ⅰ 政府は、琉球藩および琉球王国を廃止した。
- Ⅱ 政府は、軍人や士族の強硬論におされて台湾に出兵した。
- Ⅲ 台湾に漂着した琉球の漂流民が台湾で殺害された。

- ① Ⅰ→Ⅱ→Ⅲ ② Ⅰ→Ⅲ→Ⅱ ③ Ⅱ→Ⅰ→Ⅲ
- ④ Ⅱ→Ⅲ→Ⅰ ⑤ Ⅲ→Ⅰ→Ⅱ ⑥ Ⅲ→Ⅱ→Ⅰ

問3 下線部(b)に関して、割譲後の台湾統治について述べた文として最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。 30

- ① ロシア・フランス・ドイツの3国から返還要求がなされた。
- ② 台湾総督府が置かれ、初代台湾総督に寺内正毅が任命された。
- ③ 民政局長の江藤新平が、台湾の土地調査事業に着手した。
- ④ 産業の振興がはかられ、台湾製糖会社が設立された。

問4 下線部(c)について述べた文として**適当でないもの**を、次の①～④の中から一つ選びなさい。

31

- ① 北清事変は、「扶清滅洋」をとる義和団に同調して起こった。
- ② 北清事変には、日本だけでなく大韓帝国も出兵した。
- ③ 北清事変を機に、ロシアは満州を事実上占領した。
- ④ 北清事変後、北京の公使館に守備隊の駐留が承認された。

問5 下線部(d)に関連して、二十一カ条の要求の内容に関して述べた次の文X・Yについて、その正誤の組合せとして最も適当なものを、下の①～④の中から一つ選びなさい。 32

- X 二十一カ条の要求により、長春以南の鉄道とその付属利権を獲得した。
- Y 二十一カ条の要求により、中国の製鉄会社である漢冶萍公司の日中合弁化がはかられた。

- ① X 正 Y 正 ② X 正 Y 誤
- ③ X 誤 Y 正 ④ X 誤 Y 誤

問6 下線部(e)について、事件を起こした首謀者と、その事件が起きた場所との組合せとして最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。 33

- ① 井上日召－奉天郊外 ② 井上日召－北京郊外
- ③ 河本大作－奉天郊外 ④ 河本大作－北京郊外

問7 下線部(f)に関連して、満州事変勃発から日中戦争勃発までの出来事に関して述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥の中から一つ選びなさい。 34

- Ⅰ 河北省の塘沽において、日中間で停戦協定が結ばれた。
- Ⅱ 関東軍によって、華北分離工作が公然と進められた。
- Ⅲ 清朝最後の皇帝を執政として、満州国が建国された。

- ① Ⅰ→Ⅱ→Ⅲ ② Ⅰ→Ⅲ→Ⅱ ③ Ⅱ→Ⅰ→Ⅲ
- ④ Ⅱ→Ⅲ→Ⅰ ⑤ Ⅲ→Ⅰ→Ⅱ ⑥ Ⅲ→Ⅱ→Ⅰ

問8 下線部(g)に関連して、日中戦争中に出された東亜新秩序声明はアメリカの警戒をまねいた。日本が東亜新秩序声明を出した時の国民政府の首都として最も適当なものを、次の地図上に示した位置①～④の中から一つ選びなさい。 35



問9 下線部(h)に関連して、サンフランシスコ平和条約調印での中国をめぐる動向について述べた文a～dの組合せについて正しいものを、下の①～④の中から一つ選びなさい。 36

- a 日本社会党右派は、中国を含む全交戦国との講和を主張した。
- b 日本社会党左派は、中国を含む全交戦国との講和を主張した。
- c この平和条約調印の翌年、中華人民共和国と平和条約を結んだ。
- d この平和条約調印の翌年、中華民国と平和条約を結んだ。

- ① a・c ② a・d ③ b・c ④ b・d

(このページは, 空白である。)